

日本マンガ学会



第18回大会

2018

6.23 研究発表・総会

土 会場 京都精華大学 黎明館



24 シンポジウム

日 会場 京都国際マンガミュージアム

デジタル時代のマンガ

「デジタルの時代」を迎え、マンガのありようは大きく変化しました。デジタル作画技術は、マンガ表現に新たな地平をもたらし、出版社によるマンガ配信サイト運営など、マンガの流通も多様化しています。シンポジウムでは、デジタル化によるマンガ表現の変容の歴史とその挑戦、編集・流通の視点から捉えたマンガの現在について語りあいます。

主催 日本マンガ学会
共催 京都精華大学国際マンガ研究センター / 京都国際マンガミュージアム

本イベントはマンガ学会会員でなくとも参加できます。
■23日参加費
会員 1000円・一般 2000円・学生 500円
■24日参加費
会員 1000円・一般 2000円・学生 1000円
※別途マンガミュージアム入館料
※別途マンガミュージアム入館料
※大人800円・中学生300円・小学生100円が必須です。

6.24 シンポジウム

第1部 作家の視点から

- 高 浜 寛 マンガ家
- すがやみつる マンガ家・京都精華大学教授
- 具 本 媛 関西外国語大学助教
- 岩 下 朋 世 相模女子大学准教授 / 司会

第2部 編集・流通の視点から

- 関 谷 武 裕 「トーチ」編集長
- 玉 川 博 章 日本大学非常勤講師
- 安 陽 Weibo Comic 副社長
- 田 中 圭 一 マンガ家・京都精華大学教授 / 司会



©すがやみつる / 小学館